

# 朝霞地区一部事務組合だより

## 平成22年度決算の概要

### 1 歳入について

歳入の合計は、予算現額48億596万5千円に対し、収入済額48億1032万5558円で100・1パーセントの収入率となっています。

主な歳入として、分担金及び負担金は、組合構成市（朝霞市・志木市・和光市および新座市）からの負担金が43億8979万3千円で、歳入全体の91・3パーセントを占めるほか、関越高速道路および外環自動車道の救急業務負担金が473万8250円となっています。

使用料及び手数料のうち、1億7327万8025円は障害者支援施設の使用料となっています。

財産収入は、朝霞地区医師会へ貸し付けている土地賃料です。国庫支出金は、和光消防署に配備した救助工作車の購入や新車の購入、施設設備の維持管理等に40億5120万4844円が支払われています。

### 市民1人当たりに使われたお金 1万755円

(注) 平成22年10月1日現

在の構成市住民基本台帳人口43万1129人で算出しています。

### 2 歳出について

歳出の合計は、予算現額48億596万5千円に対し、支出済額596万5千円に対し、収入済額48億1032万5558円で96・5パーセントの執行率となっています。

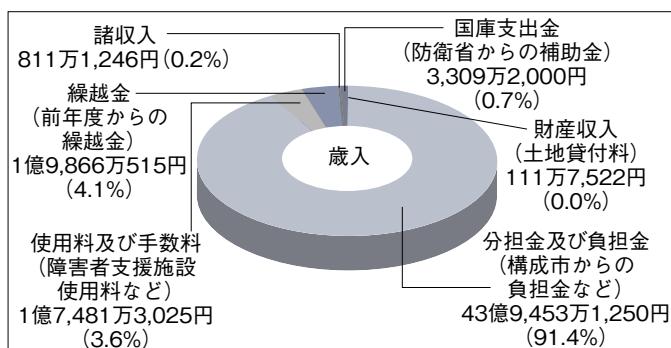
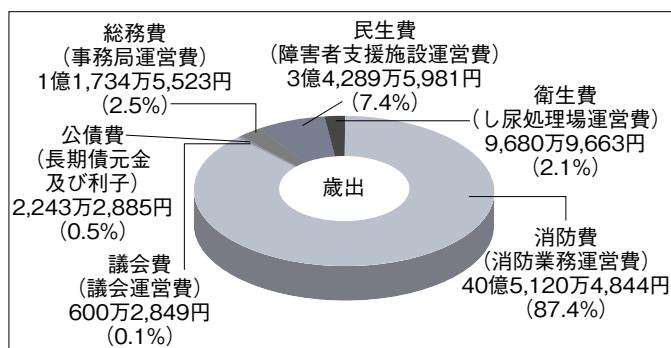
額46億3669万1745円で96・5パーセントの執行率となっています。

主な歳出として、民生費は、障害者支援施設における利用者への生活支援や施設の維持管理等に3億4289万5981円を支出しています。

衛生費は、し尿処理場の施設運営や維持管理等に9680万9663円を支出しています。

消防費は、和光消防署に配備した救助工作車の購入や新車の購入、施設設備の維持管理等に40億5120万4844円が支払われています。

なお、1年間に火災は128件(前年度181件)、救急は1万6247件(前年度1万5177件)出場しました。



## 急救車適正利用啓発ポスター 図面決定

急救車の適正利用啓発ポスターを作製するため、ポスター用図画を朝霞・志木・和光・新座市内の中・高校生、朝霞地区看護専門学生、朝霞地区医師会立朝霞准看護学校生

を対象に募集を行ったところ、144作品の応募があり、選考会の結果、最優秀賞に志木市立宗岡中学校2年生の児玉灯さんの作品が選ばれました。また、用図画を朝霞・志木・和光・新座市内に在住、在勤、在学の中学1年生以上の方を対象に上級救命講習を開催します。

平成23年度上級救命講習	開催日	開催場所	申込受付期間
定員／先着40人 費用／無料			
問／埼玉県南西部消防本部救急課			
電話 478-10899			



### 平成23年度救命講習会開催予定

#### 標語の決定

朝霞・志木・和光・新座市内に在住、在勤および在学されている方を対象に、救命業務に関する標語を募集し、応募作品25点の中から、最優秀作品として新座市在住の新井怜子さんの作品「みんなで学ぼう救える命」が選ばれました。この標語は、ボールペンに印字され急救講習や催し

物等で配布し、市民の皆さんへの救急業務に関する普及啓発に利用していきます。

平成23年度救命講習会開催予定	講習の種類	開催日	開催場所	申込受付期間
第4回 上級救命講習	12月17日(土)	和光消防署 4階講堂	12月5日(月)から9日(金)まで	
第5回 上級救命講習	平成24年2月18日(土)	朝霞消防署 2階講堂	2月6日(月)から10日(金)まで	
第6回 上級救命講習	平成24年3月17日(土)	新座消防署 4階講堂	3月5日(月)から9日(金)まで	

